

1月 図書館カレンダー

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

※行事・イベントの詳細はチラシまたは館内掲示をご覧ください。
 乳幼児一時預かりは第2・第4火曜日の10:00~13:00。
 親子タイムは第2・第4火曜日及び毎週木曜日の10:30~11:30。
 □は休館日です。※年末年始：12月29日(日)~1月8日(水)は休館します。



2月 図書館カレンダー

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
1	2	3	4	5	6	7



本の展示

月間テーマ展示 (1/18~2/20)

◇朝活! ~朝活で充実ライフを過ごそう~◇
 充実した1日は朝の過ごし方が大切! 早起きが楽しみになる本を集めました。

ミニ展示 (1/18~2/20)

◇もうすぐ春♡お花の本◇
 お花は季節を知らせてくれますよね。お花を見てぜひほっこりしてください。



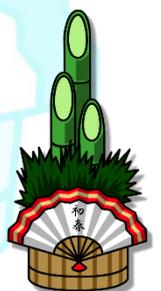
図書館NEWS

明けましておめでとうございます。

今年も志段味図書館をよろしくお願いいたします。

1月9日12時より図書館のホームページがリニューアルします。皆さまに早速ご利用いただけたら幸いです。ぜひ、以前との違いを発見してみてください。何か不明な点がございましたら、お気軽にスタッフまでお尋ねください。

皆さまにとってより良い図書館であるために、今年も頑張っています!





経済

『「段取りが良い人」と「段取りが悪い人」の習慣』
鈴木真理子 著（明日香出版社）

『コスパのいい服』

福田麻琴 著（すばる舎）

雑工業

家政学

『もっともっと知りたい無印良品の収納』
本多さおり 著（KADOKAWA）『中年女子、ひとりで移住してみました』
鈴木みき 著（平凡社）

農業

写真

『夕景・夜景写真の撮り方』
夕景・夜景写真研究会 著（誠文堂新光社）

『変半身』

村田沙耶香 著（筑摩書房）

文学

新着図書 PICK UP!



今月の新着図書 注目の1冊!

『誰にも覚えがあるヘンな感覚の正体』

博学こだわり倶楽部 編（河出書房新社）

テスト前夜に掃除をはじめ、時計の秒針が止まっているように見える…。日常にあふれている「ヘンな感覚や不思議な心理」。その数々の謎を解明する1冊。

書店に行くとき便意を催す感覚、皆さまも経験したことはありませんか。この現象にも実は名前が付けられています。皆さまの長年の謎が解明されるかもしれません。



STAFFのオススメ

『着物に合わせる洋小物』

鳴海彩詠 著（河出書房新社）

1月は着物姿の人をよく見かけます。見ると私も着たいなと思うけれど、祖母や母から譲り受けた着物は地味で止めてしまったりしていませんか？この本は普段使う洋装の小物で、地味な着物だからこそ！可愛くコーディネートが出来るアイデアをたくさん紹介しています。思わず試してみたいくなる洋小物が満載の1冊です。



第59回NHK大河ドラマ「麒麟がくる」

今年も新しい1年が始まりましたが、NHK大河ドラマの放送も間もなく始まりです。前作の「いだてん〜東京オリンピック噺〜」につづき、第59回目の題名は、すばり、「麒麟（きりん）がくる」です。

今作は織田信長の盟友にして、多くの群雄と天下をめぐる争う智将、明智光秀を題材にした作品となります。「麒麟がくる」では謎めいた光秀の前半生に光を当て、彼の生涯を中心に、戦国の英傑たちの運命の行く末を脚本家の池端俊策氏が描きます。

池端氏は過去にも大河ドラマ「太平記」の脚本に携わられているので、再来だと喜ぶファンの方もいるかもしれません。

明智光秀なんて知らないという方にも楽しんでもらえるドラマになっているそうなので、気兼ねなくご視聴してみたいかでしょうか。

※参考文献：NHK大河ドラマ「麒麟がくる」番組ホームページ
(<https://www.nhk.or.jp/kyrin/>) (参照 2019.12.20)



ちよっとコラム

くじ付き年賀はがき誕生の経緯

昭和24年12月に新しい試みとして、お年玉くじ付きの年賀はがきの発行が始まりました。年賀用のくじ付きはがきは、京都に住む林正治氏（当時43歳）によって考案されたものです。林氏は「終戦後、うちひしがれた状態の中で、通信が途絶えていました。年賀状が復活すればお互いの消息がわかるのに、と思ったのが最初の発想です。それにくじのお年玉をつけ、さらに寄付金を加えれば夢もあり、社会福祉のためにもなると思ったのです。」と昭和62年のサンデー毎日の記事の中でその頃を回想しています。当時は新聞やラジオで、尋ね人の消息を求めるのが主流でした。経緯を知るとありがたみがひとしおですね。



お問い合わせ

志段味図書館

指定管理者：名古屋TRCグループ

〒463-0811

名古屋市守山区深沢1丁目101番地

☎：052-736-6907

Fax：052-736-6908

【交通アクセス】

ゆとりーとライン 上島東下車すぐ/上島西下車2分

※参考文献：一人と人の心をつなぐ 年賀状の歴史と話題

(<https://www.post.japanpost.jp/kifu/data/h0811_nenga.pdf> (参照 2019.12.20))

※この用紙は再生紙を使用しています。